

第 51 回繊維学会紙パルプシンポジウムのご案内

「ユーザーが ICT 時代に求める紙製品の最新動向Ⅱ」

ICT (情報通信技術) 時代に求められる紙、売れる紙とはどんな紙かについての議論を昨年度第 50 回のシンポジウムで取り上げ、紙素材製品のディーラー、出版会社、エンドユーザー等の方々から、紙を活用した新しい製品やシステムの紹介と示唆に富んだご意見を頂き、好評を得ました。今回はその第 2 弾として、アナログ紙製品市場とデジタル電子商品市場の両方にまたがる事業を展開している、特に大手のエンドユーザーである書籍出版会社、デジタル印刷機メーカー、電子ペンメーカー、新聞社、紙の総合商社の方々からご意見を頂くシンポジウムを企画しました。情報のソースとして紙媒体を使って書籍を出版し、図書を貸し出し、新聞を発行してきた情報事業の紙関連セクターや、アナログとデジタルの融合を目指すメーカーが、事業展開の中でどのように紙を活かしていくのかについてじっくりとお話し頂きます。

主 催：(一社) 繊維学会 紙パルプ研究委員会

協 賛：紙パルプ技術協会、(一社) 日本印刷学会、日本包装学会、(一社) 日本木材学会

日 時：平成 28 年 11 月 10 日(木) 9:30～16:50

場 所：東京大学農学部弥生講堂 (地下鉄南北線東大前下車 3 分、農学部正門入り右側)
(文京区弥生 1-1-1、TEL 03-5841-8205 ; FAX 03-5841-8206)

<プログラム>

9:30～ 9:50 開会挨拶

1. 10:40～11:30 「出版社にとっての図書館」

成瀬雅人 (株原書房 代表取締役 / 日本書籍出版協会常任理事)

2. 9:50～10:40 「書籍出版業界の現状と将来 -紙媒体とデジタル媒体の融合-」

内田宏壽 (東京書籍株常務取締役 ICT 事業本部長兼出版事業本部長)

— 昼食 —

3. 13:00～13:50 「パッケージ印刷市場におけるデジタル印刷の歴史と最新動向」

小池亮介 (株日本 HP 執行役員 デジタルプレス事業本部 事業本部長)

4. 13:50～14:40 「紙とペンの書き心地を再現するタッチパネル用電子ペンの実力」

堀江利彦 (株ワコム エンジニアリング)

掛 晃幸 (株ワコム テクノロジーマーケティング)

— 休憩 —

5. 15:00～15:50 「紙の新聞はなくなるのか」

河内 孝 (ジャーナリスト / 元株毎日新聞社常務取締役)

6. 15:50～16:40 「紙流通業界の現状と将来」

松浦景隆 (日本紙パルプ商事株 執行役員 仕入本部本部長)

16:40～16:50 閉会挨拶

17:00～19:00 懇親会

参加費：繊維学会紙パルプ研究委員会賛助会社から 1 名無料、同 2 人目以降及び主催協賛学会・協会の会員 10,000 円

会員外 12,000 円、大学官公庁関係者・個人会員 5,000 円、学生・院生 2,000 円

懇親会：弥生講堂内会議室にて 17:00 より開催。会費 5,000 円、学生・院生 無料

参加申込先：ホームページ (http://www.enomae.com/senni_pp/) から氏名、連絡先、所属学・協会と懇親会参加の有無をお申込み頂き、合計金額を下記の銀行口座にお振込みください。先着 200 名で締め切ります。

みずほ銀行 本郷支店 (普通) 2659486 口座名：繊維学会 紙パルプ研究委員会

問い合わせ先：委員長 江前敏晴 Tel 029-853-4646 t@enomae.com

〒305-8572 茨城県つくば市天王台 1-1-1 筑波大学 生命環境系